

施設名

上尾中央腎クリニック

記載年月

2021年 4月



『施設情報』

【住所】埼玉県上尾市原新町16-4

【電話番号】048-779-6060

【施設情報】2007年7月にJR高崎線北上尾駅前に開設した透析クリニックです。当クリニックは3フロア、36床にて運用しており、2021年4月現在、92名の治療に当たっています。透析は月・水・金は午前・午後、火・木・土は午前の3クール体制にて透析療法を実施しています。当クリニックでは月2回定期検査を実施(貧血、栄養状態のモニタリング等)し、透析患者のQOL向上に努めています。クリニックではチーム医療として「バスキュラ管理」、「フットケア」、透析中のベッド上にて下肢筋力低下防止の為、エアロバイク運動を実施しています。管理栄養士による検査結果を基に「栄養指導」を実施しています。

『職員構成と業務内容概要』

現在クリニックでは臨床検査技師1名にて業務に当たっています。

【生理検査】超音波検査(シャント、腹部、甲状腺、頸動脈)、心電図、ホルター心電図、ABI/PWV、SPP(皮膚還流圧測定)等

【検体検査】月2回の定期検査(月曜日、火曜日)の準備・検体処理(血算はクリニックにて処理、生化学検査はグループの検査センターにて処理)、又、緊急の生化学検査はドライにて対応しています。白癬菌検査、等を実施しています。

【使用機器】超音波診断装置:キャノンメディカルXario200、心電計:フクダ電子FCP7401、SPP測定機器:カネカメディックスPAD4000、ABI/PWV:フクダ電子VS1000、生化学分析装置:富士ドライケム7000、血液算定装置:sysmexKX21

【勤務時間】月・水・金 8:00~18:00 火・木 8:00~15:45 土 8:00~14:00

『取り組み内容』

【チーム医療】

1. シャントチーム:透析療法を受けている患者にとって、シャントは命綱です。シャント閉塞となると透析が出来なくなり、早急な対応が必要です。看護師、臨床工学技士が穿刺前に聴診、触診を実施しシャント狭窄の有無を判断、又、穿刺後に脱血不良(吻合部から脱血穿刺部までの狭窄)、静脈圧上昇(返血した所より中枢側に狭窄があると圧が上昇します)などが有ると「シャント会議」にて患者情報が挙がり、医師の指示のもと超音波検査を実施しています。

2. フットケア:全ての患者に対して「フットケア」を看護師が行っています。長期に渡り透析療法を受けている患者は血管の石灰化を起こしやすくなり動脈の狭窄や閉塞を発症します。又、透析療法を受けている患者の約半数は糖尿病が原因であり、糖尿病は下肢閉塞性動脈硬化症(ASO)が重症化しやすいです。ASOが重症化すると下肢切断となり生活の質(QOL)が著しく低下します。フットケアにより下肢動脈を蝕知して、左右差、皮膚色調、足の痛みの有無、等からASOを疑う時は、医師に報告して指示の基でSPP、ABI/PWV検査を実施しています。又、フットケアにて白癬菌感染症(水虫)が疑われる時は、医師の指示の基で検体を採取し鏡検して報告しています(白癬菌による二次感染防止『蜂窩織炎・壊死性筋膜炎』)

※「検体採取等に関する厚生労働省指定講習会」を受講しています。